

専修大学の「ホームページ」使いやすくりニューアル



専修大学のホームページをさらに使いやすく、分かりやすくするために、トップページが約2年ぶりにリニューアルされた。

トップページは前回同様「ユーザー別誘導型」になっており、「入学を希望する方へ」「一般の方へ」「在学生の皆さんへ」「在学生のご父母へ」「卒業生の皆様へ」「本学教職員へ」の6つのカテゴリーから自分に当てはまるものを選ぶことが出来、検索しやすくなっている。

今回は特にビジュアルを重視したデザインを作成。メインデザインとして、中央に、青い地球を両手で包んでいるデザインを使用。その地球の中には、本学が進める21世紀ビジョン「社会知性」のロゴが白く浮かび上がっており、21世紀に求められる能力「社会知性」が、日本のみでなく、地球で求められている力であり、その力が地球を支えていくというイメージである。

準トップページも変更。各ページ項目を整理して使いやすいデザインとなった。

同時に、「キャンパス案内」サイトもリニューアルした。キャンパス案内サイトの特集ページである「専修大学食オールガイド」では、神田・生田両キャンパスの合計12の学生食堂での定番人気メニューを3～5品紹介、各食堂での学生たちの利用風景も一段と明るくなった。

そのほか施設案内も充実、各号館の主要施設を写真入りで紹介している。キャンパスツアーも楽しめる。

[9月15日/ニュース専修7面]

インターネットを賢く使おう 専修大学WEBマスター 八歳 克彦

長い夏休みも終わり、キャンパスに元気なみんなの顔を見られたので、ひと安心です。海外旅行先から、ウェブメールや、ローミングサービスでeメールを利用した人もいたみたいだね？ほんとうに通信手段が進んだおかげで、便利になったものだと感心しています。滞在先にPC等が無くても、ホテルや、一部の国ではネットカフェなどで手軽にインターネットが利用できるから、訪問地の情報を入手して、現地の人も知らないような、素敵な観光スポットを探し当てたり、日本の自宅にいる家族や友人にメールやインターネットテレフォンで手軽に、また費用もそれほどかけずに連絡できるなんて、つい2~3年前まではこれほどまでには普及していなかったような気がするんだけどね。

そういえば、外国に行って困る言葉の壁も、インターネットなら翻訳ソフトを利用すれば、完璧とはいかないまでも、大筋理解できるのもうれしいね。この前のワールドカップのときに、共同開催国の韓国と日本で、ウェブを通じて、翻訳ソフトの助けでチャットをやっていたニュースを、あるいは、君も見たかも知れないね。でも外国へ行ったら、直接その国の言葉で会話を楽しみたいものだ。面と向かっての会話はちょっとシャイな日本人にとってはどちらかというと苦手なようだけど、基本になるあいさつや感謝の言葉ぐらいいは、普段からウェブの語学サイトで勉強しておくのも、巧みなウェブ利用術といえるかもしれない。

旅行中に撮ったスナップショットやビデオ映像を自分のホームページに載せて、現地でお世話になった人や友人に公開するなんていうの、どうかな？きっといろいろな反応も返ってきて、思い出にいつその彩りが添えられるよ。無料のホームページもてるサービスもたくさんあるから、ちょっと調べてみてはどうだろう？グローバルな通信手段のインターネットを手軽に利用して、自分の行動半径を思い切って広げてみないかい？でも“ネチケット”には気をつけることと、他の人に迷惑をかけるようなことだけには、注意しようね。被写体になった人の肖像権や、他人の書いた文章などを何気なく使ってトラブルにまきこまれたら、せつかくの楽しい思い出もフイになっちゃうからね。

では来月号で会おうね！

[9月15日/ニュース専修7面]